

# 下村善太郎 -ひたすら前橋のために- 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやく人々-中毛編-」

第3回 平成24年10月11日(木)「下村善太郎 -ひたすら前橋のために-」と連動し、本館所蔵の下村善太郎関連資料の一部を展示します。

展示期間：平成24年8月18日～平成24年10月19日

## 群馬県立図書館 調査相談室

**下村善太郎(しもむら ぜんたろう)略歴** 1827(文政10)年～1893(明治26)年 初代前橋市長・実業家  
前橋本町の小間物屋「三好善」の長男に生まれ、腕白で利発。16歳で妻せいと結婚し家業を継ぐが、藩主不在の町に博奕が流行り、善太郎も賭博や米相場に手を出し家業が傾く。23歳で新天地での再出発を決意。妻の兄の紹介で八王子の糸屋を頼り、熨斗(のし)糸買から反物、生繭へと商売を広げる。夫婦で奮闘努力し、周囲の信用と支援を得て、機敏な取引で資産を増やす。横浜開港を機に、仲居屋重兵衛を通じて生糸貿易でも商才を発揮し、巨利を得る。父の死後郷里に戻り、糸繭商として外国取引を開始。早飛脚を使い、他の糸商より1日早く横浜の糸相場を把握。一躍前橋の大富豪となり、城の再築に出資した他、ひたすら前橋の発展を願い、道路の開設修理、桃井小学校の新築、鉄道の前橋延長、天災・大火の被災者救援、臨江閣の建設、利根川の架橋、生糸の品質改善等、地域振興のために巨額の私財を投じる。県庁誘致では有志等と先頭に立ち、楯取県令と交渉。庁舎や官舎の準備等必要経費の三分の一を1人で負い、医学校や師範学校の建設にも多額の寄付をしている。明治25年市制施行の際、推されて初代市長に就任したが、惜しくも翌年66歳で永眠。近代前橋建設の父として偉大な精神と功績を慕われ、市民の手で二度、銅像が建立されている。

### 【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

- 『上毛及上毛人』第8-12号 大正6年4-6月上毛郷土史研究会刊の復刻本 豊国義孝編 上毛新聞社 1975  
K005 J69.3 3(3) ○ 故下村善太郎翁と未亡人(上,中,中の続,下,下の続) 覚堂 豊国義孝
- 『上毛及上毛人』第93号 大正14年1月上毛郷土史研究会刊の復刻本 豊国義孝編 上毛新聞社 1977  
K005 J69.3 3(11) ○ p.51-52 下村翁の銅像へ奉告式 縣廳舎建築案通貨の為め
- 『上毛及上毛人』第273号 大正15年1月上毛郷土史研究会刊の復刻本 豊国義孝編 上毛新聞社 1977  
K005 J69.3 3(26) ○ p.28-29 下村善太郎 群馬県近世善行録
- 『群馬県百科事典』上毛新聞社 1979 K030 G94 ○ p.455 下村善太郎
- 『群馬県史』通史編7 近代現代1 政治・社会 群馬県史編さん委員会編 群馬県 1991 K211 G94.2 2(7) ○  
p.127-128 県庁移転の動き 前橋の誘致運動とその背景、p.322 下村善太郎銅像(写真)
- 『群馬県史』通史編8 近代現代2 産業・経済 群馬県史編さん委員会編 群馬県 1989 K211 G94.2 2(8) ○  
p.195-196 上州生糸商の活躍、p.326 上毛物産会社の設立、p.404 日本鉄道の開通
- 『群馬県史』通史編9 近代現代3 教育・文化 群馬県史編さん委員会編 群馬県 1990 K211 G94.2 2(9) ○  
p.105-110 教員養成と医学校
- 『横浜開港五十年史』下巻 横浜商業会議所編 名著出版 明治42年刊の復刻版 1973 213.7 ㊦32 (2)  
p.533 「生糸入関禁制」の項に下村善右衛門の関連記述あり
- 『群馬県百年史』上巻 群馬県編 群馬県 1971 K216 G94 (1) ○ p.191-202 県庁位置の推移
- 『明治あれこれ 新聞記事からみた近代群馬の明暗』(みやま文庫8) 萩原進編 前橋 みやま文庫 1963  
K216 H14 ○ p.31 下村善太郎のこと(郵便報知新聞 明治9・12・2)
- 『群馬の明治百年』毎日新聞前橋支局編 毎日新聞前橋支局 1968 K216 Ma31 ○  
p.84-88 下村善太郎、p.174-178 県庁前橋へ 前橋の有力者が活躍
- 『前橋市史 第4巻』前橋市史編さん委員会編 前橋市 1978 K222 Ma26.1 (4) ○  
p.17-24 下村善太郎らの画策と前橋移庁決定、p.190-192 歴代市長伝(明治・大正期) 下村善太郎
- 『前橋事典』前橋事典編集委員会編 国書刊行会 1984 K222 ㊦42 ○  
p.197 下村善太郎の墓、p.228 下村善太郎
- 『図説・前橋の歴史』(群馬県の歴史シリーズ1) 近藤義雄著 藪塚本町 あかぎ出版 1986 K222 ㊦66 ○  
p.162-163 県庁誘致に成功した前橋、p.167 前橋市初代市長下村善太郎の肖像と銅像写真
- 『新・まえばし風土記』加藤鶴男著 前橋市観光協会 1987 K222 ㊦7Y ○ p.38-69 下村善太郎
- 『前橋アラカルト 都市づくり100年』市川克人著 前橋市観光協会 1992 K222 ㊦2Z ○  
p.19 名誉市民、p.94-95 前橋市の誕生 下村善太郎が初代市長に、p.152-153 下村善太郎 県庁誘致など前橋の基礎づくりに尽力
- 『近世上毛偉人伝』高橋周楨著 東京 吾妻書館 1982 K281 Ta33 2 ○ p.303-310 下村善太郎傳
- 『郷土歴史人物事典群馬』萩原進著 第一法規 1978 K281.3 H14 ○ p.98 下村善太郎
- 『上州の顔 歳時記』〔東京新聞編〕東京新聞前橋支局 1981 K281.3 ㊦1Z ○ p.83 下村善太郎
- 『群馬県人名大事典』上毛新聞社編 上毛新聞社 1982 K281.3 ㊦2Y ○ p.265 下村善太郎
- 『群馬県先哲偉人伝』群馬県国民精神総動員事務局編 1940 K281.4 G94 ○ p.67 下村善太郎
- 『郷土史にかがやく人々 第2集』群馬県青少年室編 群馬県 1969 K281.4 G94.1 (2)  
p.35-45 郷土の発展に一身をささげた 下村善太郎
- 『群馬県人』萩原進著 新人物往来社 1975 K281.4 H14 3 ○ p.167 下村善太郎
- 『上毛人物めぐり』正木四郎編 群馬県警察本部 1963 K281.4 Ma61 ○ p.39-45 前橋の恩人 下村善太郎
- 『郷土に光をかかげた人々 1巻』群馬県教育委員会編 群馬県教育委員会 1985 K281.4 ㊦53 (1) ○  
p.85-90 前橋の発展のもとをつくった 下村善太郎 裏面へつづく

- 『痛快群馬の人物伝』 浅田晃彦著 あかぎ出版 2004 K281.4 =40 ○  
p.102-107 手荒く儲け、気前よく寄付 下村善太郎
- 『時代の鼓動を駆け抜けた人たち』 石村澄江著 高崎 あさを社 2008 K281.4 =83 ○  
p.196-198 蓄財を前橋発展のために使った 下村善太郎
- 『群馬の肖像 I 顔は歴史を語る』 群馬県立歴史博物館編 群馬県立歴史博物館 2004 K289 +=41 (1) ○  
p.15 下村善太郎肖像画
- 『下村善太郎と同時の人々』 栗田秀一著 前橋 上毛印刷 1925 K289.22 Sh53 p.1-164 下村善太郎
- 『初代市長 下村善太郎』〔前橋市役所編〕 前橋市役所 1954 K289.22 SH53 47
- 『初代前橋市長下村善太郎翁銅像再建記念誌』 初代前橋市長下村善太郎翁銅像再建推進委員会編  
1983 K289.22 Sh53 139
- 『前橋の恩人 下村善太郎』 前橋市立元総社南小学校地域教材開発委員会編 1985 K289.22 Sh53 153 ○
- 『商人道 80年代に生きるあきんど』 島武史著 日本総合教育機構 1980 K289.22 Sh53 195 ○  
p.103-109 早飛脚情報を生かした前橋商人 下村善太郎
- 『その人その人生 下村善太郎 下村善右衛門伝』 萩原進著 前橋 下村善太郎同善右衛門伝記刊行会  
1993 K289.22 SH53 136
- 『前橋案内』 野条愛助編 1989 K292.2 N93 口絵 肖像あり
- 『群馬県教育史』別巻 群馬県教育センター編 群馬県教育委員会 1981 K372 G94.2 2(6) ○  
p.459-461 下村善太郎
- 『前橋市教育史』上巻 前橋市教育史編さん委員会編 前橋市 1986 K372.2 163  
口絵 前橋の近代教育の基礎を築いた下村善太郎初代市長の像
- 『群馬県蚕糸業史』下巻 群馬県蚕糸業史編纂委員会編 群馬県蚕糸業協会 1954 K630.2 G94 (2) ○  
p.906-907 下村善太郎
- 『絹先人考』(シルクカントリー双書3) 上毛新聞社 2009 K639 =82 (3) ○  
p.102-107 下村善太郎 『県都』発展に尽力 生糸取引に成功し凱旋
- 『商人道-80年代に生きるあきんど』 島武史著 日本総合教育機構 1980 672.1 101 ○  
p.103-109 早飛脚情報を生かした前橋商人 下村善太郎
- 『開港と生糸貿易』中巻 藤本 実也著 横浜 開港と生糸貿易刊行会 1939 O-02536 ○  
p.600-603 生糸入浜禁制と鎖港騒

## 【雑誌】

- 『グラフぐんま』第16号 1968.01.15 群馬県企画 上毛新聞社編 上毛新聞社  
p.46 群馬躍進の原動力 下村善太郎
- 『ぐんまの教育』第6号 昭和61年3月 群馬県教育振興会編群馬県教育振興会  
p.54-61 群馬県教育関係人物伝 下村善太郎 石川克弥
- 『群馬歴史散歩』第81号 1987年3月 群馬歴史散歩の会〔編〕群馬歴史散歩の会  
p.39-41 下村善太郎翁銅像碑 前橋市内の記念碑五基 佐藤寅雄
- 『群馬歴史散歩』第103号 1990年11月 群馬歴史散歩の会〔編〕群馬歴史散歩の会  
p.42-47 横浜開港と上州人 下村善太郎 加藤鶴男
- 『広報まえばし』前橋市総務企画部広聴文書課編 前橋市役所  
昭和57年2月15日 新・まえばし風土記下村善太郎 本町商家の一人息子、昭和57年3月1日 失敗、苦境のどん底に、  
昭和57年3月15日 新天地、八王子での再起、昭和57年4月1日 日本のシルクロードに立つ、  
昭和57年4月15日 帰郷、お城再築に献金、昭和57年5月1日 町の有志と桃井校を新築、昭和57年5月15日 県庁を前橋へ、  
昭和57年6月1日 県庁を前橋へ 続、昭和57年6月15日 医学校と師範学校、昭和57年7月1日 糸のまちの息吹、  
昭和57年7月15日 銀行、鉄道、利根の橋、昭和57年8月1日 榎取県令と臨江閣、昭和57年8月15日 ひたすら「前橋のため」、  
昭和57年9月1日 市制施行、初代市長に、昭和57年9月15日 前橋の空に輝く巨星
- 『上州路』No.143 1986年2月号 関口ふさの編 高崎 あさを社  
p.24-25 子孫のために美田を残さず 初代前橋市長 下村善太郎
- 『上州路』No.158 1987年6月号 関口ふさの編 高崎 あさを社  
p.27-28 下村善太郎 上州商人の点描 石原征明
- 『上州路』No.363 2004年8月号 関口ふさの編 高崎 あさを社  
p.43 蓄財を前橋発展のために使った下村善太郎 江戸幕府崩壊と上州人(十) いしむらすみえ

## 【新聞】

- 『上毛新聞』2007(平成19)年5月6日 絹先人考 第2部13 下村善太郎 「県都」発展に尽力 生糸取引に成功し凱旋

## 【インターネット情報資源】

- 下村善太郎 (Wikipedia)  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8B%E6%9D%91%E5%96%84%E5%A4%AA%E9%83%8E>
- 下村善太郎の銅像と墓 関東絹の道 絹に関する人物 (群馬県生涯学習センター)  
<http://www.manabi.pref.gunma.jp/kinu/>
- 下村善太郎の墓(市史跡) 中央・南橋の文化財を訪ねて (前橋市)  
<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/266/269/p003158.html>